



9/6

古川の「盆踊り」が地元中学生らの協力により復活！

昨夏惜しまれながら約20年の歴史の幕を閉じた「飛騨古川大きな輪になろう盆踊り」が形を変えて開催されました。

市観光協会が中心になり、古川町民謡保存会や古川中学校生徒らの協力を得て、既存のイベントに集約する形で開催。高齢化や担い手不足が深刻になる中で、新たな担い手に参画してもらいつつ、関係者の負担を軽減し、大切な伝統文化を守り維持する試みが進められています。

当日は白壁土蔵の町並みを灯りで彩る「白壁土蔵キャンドルナイト」や「色和衣浴衣ショー」、市内園児らが手作りしたランタン展示などが行われ、市民や観光客らで賑わいました。

また、古川町民謡保存会の演奏や唄に合わせて、住民らが輪になって盆踊り。事前に練習をした中学生も参加し、「飛騨やんさ」や「ぜんぜの子」を世代を超えて楽しんでいました。



飛騨市観光協会
齋藤由宏事務局長

先輩方が大事にしてきた
思いを私たちがつないでいかない
といけない。少し工夫をすれば
まだまだ頑張れると思っています。
その姿を子どもたちにも見てもらい、
地域のことを考えるきっかけに
してほしいです。
盆踊りなどいろんなイベントを
ひとつにすることで、それぞれの
強みを持ち寄った行事に
なったと思います。



9/13



▶ワニ形類の歯・岐阜県博物館所蔵
歯の化石は最大長1センチ、
最大幅0.4センチ

初開催！ 神岡化石フォーラム

神岡町で発掘されたワニ形類の歯の化石を初公開。

化石は約1億2700万年前の地層から発見され、この時代のワニ形類の歯化石は県内で初めてです。

この日は全国から約380名が来場し、岐阜県博物館高津翔平学芸員らによる講演会やアンモナイトなどの化石の発掘体験が行われました。親子でハンマーで叩いたり、歯ブラシで磨いて化石を取り出すのを楽しんでいました。



9/13



飛騨市民カレッジ 絵本の一場面を彩るワークショップ

市民の生涯学習の場「飛騨市民カレッジ」の芸術に関する講座として、グラフィックデザインなど幅広い分野を手がける絵本作家たちとみちこさんを招き、「絵本の世界をみんなで彩る！色塗りワークショップ」が開催されました。この日は1歳から86歳までの21人が参加。たちもとさんが絵を担当した絵本『しろおうさまとくろおうさま』に登場する灰色の風景を思い思いの色で塗り、カラフルに彩りました。

9月



小学生もサポーターに！ 認知症月間

9月の認知症月間に合わせ、認知症や介護に関する取り組みが市図書館や市内各地で行われました。市内小中学校では、子どもたちが認知症について正しく理解するための「認知症サポーター養成講座」が開かれ、市内の医療介護事業所の職員はVRでの認知症状疑似体験を行いました。また、市図書館には認知症や介護に関する本や資料、おすすめ本のコーナーを設けました。